

中国、四川省でペストが発生

2012年9月11日 ProMED 情報(7th Space, Hong Kong SAR Government report)



9月10日、衛生局防疫センター(CHP)は、腺ペスト患者に関する通知を衛生省(MoH)から受け取りました。四川省 Ganzizhou の住民3名が、9月2日、死んだマーモットを食べました。9月4日、そのうちの1名に身体の右側に痛みを伴うリンパ節腫大が出現したため、9月7日に入院しましたが、症状がその後悪化し同日死亡しました。四川省衛生当局は、臨床的特徴、疫学調査、検査結果から、腺ペストと診断しました。現在、マーモットを食べた残り2名を含む59名が健康監視を受けていますが、発症していません。

報道官は、旅行者は、ペストの報告のある地域への旅行を避けるが、行く必要がある場合は、ノミに咬まれないように長袖のシャツやズボンをはき、虫除けスプレーを使用するなどの対策をするとともに、体調に異常を感じたときは、医療機関を受診するよう注意を喚起しています。

[ProMED 調整者]

死亡患者は、腺ペストが進行しペスト敗血症か肺ペストになった可能性があります。肺ペストは、ヒトからヒトへ空気感染します。

マーモットは、東アジアでは最もよく知られたペスト菌の保菌動物です。